

令和6年度 技術・家庭科 技術分野 1学年 評価規準

題材名	時数	学習活動・内容	題材のまとめりごとの評価規準
技術分野のガイダンス	1	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの製品に込められた技術の工夫やアイデアを調べ、発表する。 ・身の回りの製品などを「技術の見方・考え方」の視点で観察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3学年間の技術分野の学習に見通しを持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。(態)
身の回りの材料と加工の技術	6	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの製品を見て、なぜその材料が使われているか知る。 ・材料と目的に応じた工具や工作機械の選択方法を知る。 ・工具や工作機械を安全に使用方法や技術室の安全のための決まりについて考える。 ・部材の組み合わせや接合の方法などを工夫して製品を丈夫にする方法を考える。 ・材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの製品に生かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解している。(知) ・目的とする加工に応じた工具や機器について理解している。(知) ・工具や機器を適切に選択し、安全に配慮しながら、簡単な製作品を製作できる技能を身に付けている。(知) ・身の回りの製品を丈夫にする方法を調べる活動などを通して、構造と部材を丈夫にする方法について理解している。(知) ・材料と加工の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。(思)
材料と加工の技術による問題解決	28	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を解決するために、使用目的や使用条件に合わせて、製作品の構想を具体化し、必要な図に表す。 ・工程ごとに使用する工具や工作機械を知る。 ・必要に応じた各工具・工作機械を用い、材料を加工する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製作に必要な図の描き方を理解している。(知) ・製作に必要な図に表すことができる技能を身に付けている。(知) ・製作に必要な工具・工作機械を用い、構想通りの加工ができる。(知) ・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。(思) ・安全・適切な製作や検査・修正をすることができる。(思) ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。(態) ・構想に基づいて、製作の計画通り進めようとしている。(態)
材料と加工の技術の最適化	1	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の問題解決における最適化の場面を振り返り社会の問題解決における最適化と比較する。 ・持続可能な社会の構築のために、これからの材料と加工の技術について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・材料と加工の技術の最適化について考えている。(思) ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を評価し、適切な選択、改良、応用について考えている。(思) ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。(態)

* (知) …知識・技能 (思) …思考・判断・表現 (態) …主体的に学習に取り組む態度